



特定非営利活動法人 LPI-Japan  
〒102-0082 東京都千代田区一番町15番地 一番町コート6F  
TEL : 03-3261-3660 FAX : 03-3261-3661  
E-mail : info@lpi.or.jp



Linux  
Professional  
Institute

Linux 技術者認定機関

# LPI-JAPAN

エルピーアイジャパン



## CONTENTS

Global affiliates

LPIC Programs

Partnerships



# 果てしなく広がるオープンソースの海へ LPIC — Linux Professional Institute Certification

日本で取得できる世界基準 LPIC — 世界最大の Linux 技術者認定制度

## 中立な立場から日本の Linux 技術者の 価値向上に貢献する

LPI-Japanは、Linux／オープンソース技術者の育成とオープンソース普及のための支援活動を、Linux技術者認定試験を通じて行う、非営利団体LPIの日本組織として、2000年に設立されました。

LPIが提供する認定資格[LPIC](Linux Professional Institute Certification)は、国際的に通用する資格として、日本はもとより海外でも広く認知され、認定者に対して高い評価を得ています。

またLPI-Japanは、技術者の認定のみならず、教育機関や教材の認定も実施しています。学習環境基準をクリアした教育機関を、LATP(LPI Approved Training Partners)として認定させていただき、LPIC取得を目指す受験者が質の高いLinux教育を受ける事ができるようにしております。

教材につきましても、LPIが定めた教材の基準を満たした書籍をLATM(LPI Approved Training Materials)として認定し、皆様にお勧めしています。

現在、「オープンソースムーブメント」はIT分野のみならず、新しいビジネスモデルとして多方面に押し寄せています。LPIC認定者はオープンソースの世界に身を置くことにより、このようなビジネスモデルの変化をより早く理解できるIT技術者になり得ます。

またオープンソースの世界にて尊ばれる能動的な行動形態もオープンソースの世界に深く関わる事によって、初めてその重要性に多くの技術者は気づきます。

LPI-Japanでは日本のIT技術者の技術的レベルの向上のみならず、技術者がより幅広い知識と経験を積めるよう様々な活動を行っております。

LPI-Japan 理事長  
成井 弦



## Globalな活動拠点

世界にLPIの拠点を置き、オープンソースの普及・啓蒙活動を展開しています。

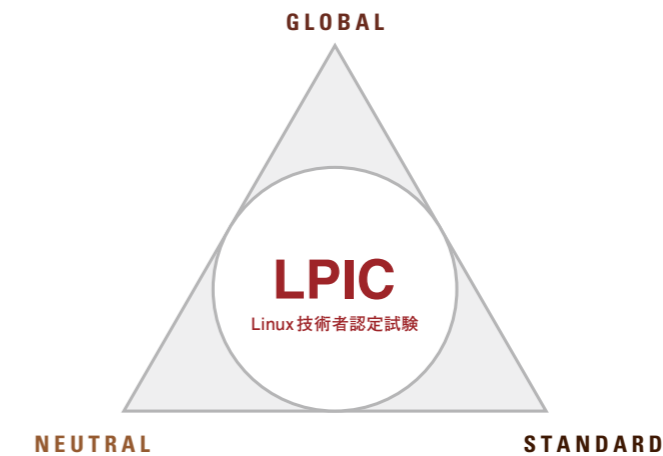


LPI (Linux Professional Institute) は、Linux 技術者認定「LPIC」(Linux Professional Institute Certification) を中立公正な立場で実施する、特定非営利活動法人 (NPO) です。「LPIC」は、現在では世界150カ国以上で実施されています。また、LPIの活動資金は主にLPIに賛同する企業や団体からの寄付金と「LPIC」受験料の一部に支えられています。LPIは「LPIC」の実施を通じて、Linux/オープンソース技術についての必要不可欠な技術の習得を促進し、オープンソースの発展とIT技術者の

人材育成に寄与していくことを目指しています。そのために、戦略的パートナー、スポンサーシップを通じて、Linux/オープンソースの啓蒙活動を行っております。LPI-Japanは、LPIの日本支部として、日本における、「LPIC」の普及、Linux/オープンソース技術者の育成、更には、Linux/オープンソースのビジネスの促進に寄与する活動を、スポンサー企業、パートナー団体、そしてLPIの活動に賛同するボランティアの方々と共に展開しています。

## LPIC (Linux 技術者認定試験) とは

LPICとは「Linux Professional Institute Certification」の略称で、特定非営利活動法人/ Linux 技術者認定機関「LPI」が実施する、Linux 技術者認定試験です。



世界で実施されている国際的な認定制度です

### GLOBAL 世界標準

公正なLinux 技術力の判断基準として国際的に認められています。世界共通基準で認定を行っており、150カ国以上の方々を受験されています。

Linuxの技術力を中立公正に判定する認定制度です

### NEUTRAL 公正

ベンダーやディストリビューションに全く依存せず、常に中立公正な立場で、より幅広い見地からLinuxの技術力を評価しています。

世界最大のLinux受験者数を有する世界共通基準の認定制度です

### STANDARD 世界最大

Linux技術者の正確な技術力を判断する世界標準として認められ、多くの企業、教育機関、公的機関で採用されています。

ベンダーニュートラル  
▼  
様々な環境で知識が活かせる

本質的な問題  
▼  
技術的な本質を見極める問題

広範囲に渡る出題  
▼  
技術者の技術レベルの把握

## LPICの試験作成開発プロセス

試験問題の作成においては、世界のLinuxコミュニティに対してアンケート調査を実施し、世の中で必要とされるタスクと技術を確定します。このような問題作成のプロセスを経て、最先端のフィールドで求められている技術力を正確に判断できる試験となっているのです。また、LPICは、サイコメトリック(計量心理学)に基づき広範囲にわたる妥当性のチェックをすることにより、試験問題の一貫性と適正を維持し、可否を区分する適正ラインを設定しています。



※LPIC 試験問題の一部は、Linuxの開発と同様にLinuxコミュニティの方々の参加を得て作成されています。



## 認定制度

LPICは3段階のレベルを設け、順次ステップアップしていく構成となっています。

※試験時間は各試験につき90分間、問題数は約60問です。

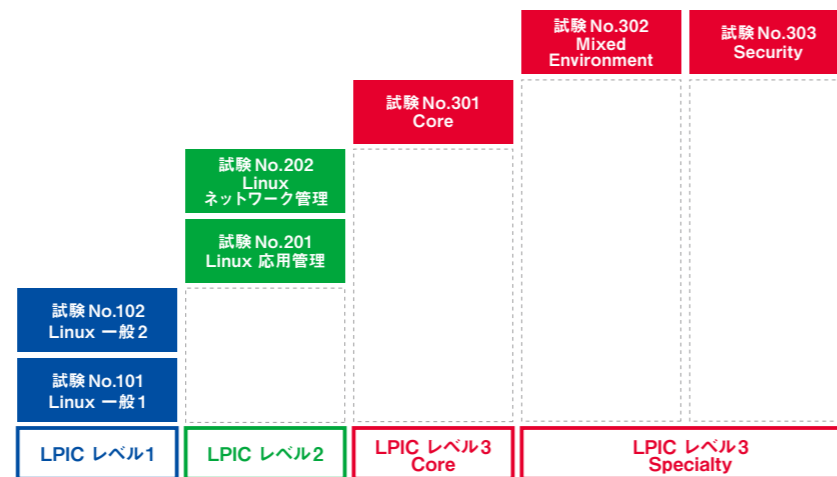


### レベルについて

LPICには、「レベル1」「レベル2」「レベル3」の3段階があります。

「レベル1」と「レベル2」は、レベル毎に2つの試験に合格しなければなりません。ただし、2つの試験を同時に受験する必要はありません。「レベル3」では、301試験に合格すると「レベル3 Core」に認定され、更に、302以降の試験に合格すると「レベル3 Specialty」に認定されます。試験範囲については、LPI-Japanのホームページに掲載されている「レベルと試験範囲」を参照して下さい。

[www.lpi.or.jp/lpic/examination/level.shtml](http://www.lpi.or.jp/lpic/examination/level.shtml)



### 認定証・認定カード



※レベル3は、CoreとSpecialtyで、それぞれに認定証、認定カードが発行されます。

### 受験方式と試験概要

LPICには、いつでも受験可能なオンラインテスト (CBT: Computer Based Test) と団体受験向けのペーパーテスト (PBT: Paper Based Test) の2種類があります。

オンラインテスト (CBT)	ペーパーテスト (PBT)
<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでも受験可能</li> <li>世界的な試験配信 (ピアソン VUE 社、プロメトリック社に委託)</li> <li>国内テストセンターは全国 220会場以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度に団体受験が可能</li> <li>社内・学内等ご希望の場所で受験可能</li> </ul>
ピアソン VUE 社 <a href="http://www.vue.com/japan/">http://www.vue.com/japan/</a> ☎ 0120-355-173 プロメトリック社 <a href="http://www.prometric-jp.com/">http://www.prometric-jp.com/</a> ☎ 0120-387-737	

**受験料割引制度** 最大10%の割引が適用される制度がございます。詳しい内容の説明をご希望の方は、LPI-Japan 事務局までお問い合わせ下さい。

### 各レベルのカバレッジ

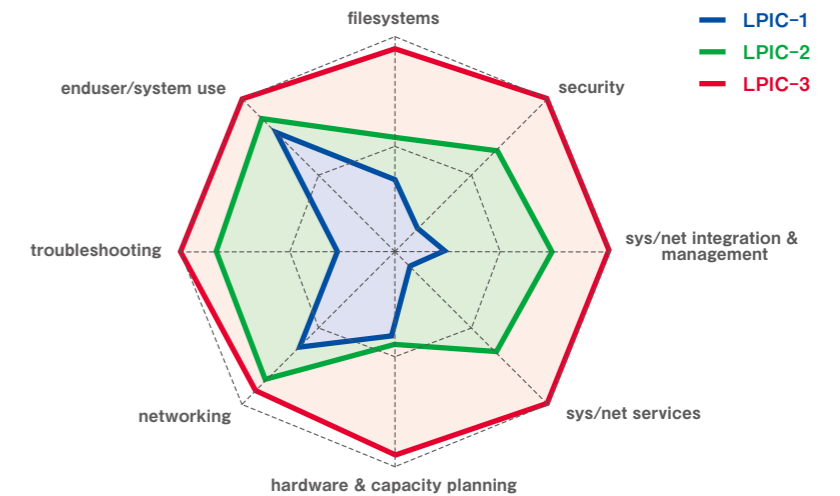
LPIは技術者の業務分析を行い、業務に必要となる技術を定め、LPICの試験範囲に反映させています。これを学習指針とすることで業務に必要となる技術を身につけることができます。

「レベル1」の段階ではまず運用管理に必要となる基本的な操作に重点が置かれています。

「レベル2」では応用的なネットワークやサーバ構築に重点が置かれ、更にカバーしている範囲が広がっています。

「レベル3」になると、すべての領域において、最も高い技術力が要求されるようになります。

「レベル2」や「レベル3」の認定を受けているということは、幅広い領域において、高い技術力を有するエンジニアであるということが証明できます。



### 企業にとっての資格取得メリット

貴社のお客様に対し、以下の技術力を持つエンジニアを有している企業としての証明となり営業効果が高まります。また、技術者採用時や企業内の人事評価において、LPICは客観的な指標になります。

- レベル1**
  - Linux サーバ環境の構築・運用・保守をするための基本的な操作ができる。
  - Linuxの基本操作及びシステム管理、Linuxディストリビューションを利用するために必要な知識を幅広く有する。
  - 実際の現場においての基本的な業務に直結する技術力を有する。
- レベル2**
  - Linuxシステムの企画、導入、維持、トラブルシューティングなど、Linuxの応用技術を有する。
  - カーネルからネットワークに関する事まで、開発、構築、管理、修正を行うことができる。
  - 大手Linuxディストリビューションがサポートしていない周辺機器を動作させることができる。
- レベル3 301**
  - エンタープライズレベルのシステムを考慮したLinux環境のシステム計画、設計、構築、実装ができる。
  - Linux環境のキャパシティプランニングの作成や、リソースの問題のトラブルシューティングができる。
- レベル3 302**
  - Linux、Windows、UNIXの混合環境でのシステム構築や、トラブルシューティングができる。
  - Linuxをメインとした混合環境で、ファイルサービスとプリントサービス、ユーザー管理、ドメインコントロール、セキュリティ、パフォーマンス調整などのシステムインテグレートができる。
- レベル3 303**
  - Linux環境での認証暗号化技術及びシステムセキュリティを考慮したシステム計画、設計、構築、実装ができる。
  - セキュアなシステムを構築するために、ぜい弱性を評価しその対策を考え、トラブルシューティングができる。



## プラチナスポンサー制度

### Linux人材の育成とオープンソースの活性化を目指す



私たちの目標は、LPICを通じてオープンソースを広めていく事です。プラチナスポンサー制度とは、Linux人材の育成及びオープンソースの活性化に深く貢献している企業として認知度を高める事ができるプログラムです。LPI-Japanのプラチナスポンサーとして、大手メインフレームメーカー、Linuxディストリビューション、ソフトウェア開発、人材派遣など、様々な分野の企業様に参画していただいています。

### 3つのメリット

- MERIT 1** **Linux 業界への露出効果**  
 LPI-JapanのWEBサイトTOPページにプラチナスポンサー企業のロゴ掲載を致します。LPI-Japanが作成し、配布する様々な印刷物にもプラチナスポンサー企業のロゴが入り、国内外を問わず高い露出効果を得られます。LPI-Japanが推進する各種プロジェクトにプラチナスポンサーとして参加することで、様々な講演会でのPRや、LPI-Japanの広報活動でのメディア露出などその効果は多岐にわたります。
- MERIT 2** **様々なワーキンググループへの参画**  
 LPI-Japanでは様々なワーキンググループを推進しており、プラチナスポンサーはこのワーキンググループに参画できます。これにより、人的な交流、Linuxに関する最新情報の収集が可能となるだけでなく、Linuxの発展に貢献する企業として対外的にアピールができます。
- MERIT 3** **LPI-Japan主催の各種セミナー・イベントへのご招待**  
 LPI-Japanでは様々な最先端のLinux技術を取り入れた多くのセミナー・イベントを企画、運営、実施しております。これらのセミナー・イベントにご招待させていただきます。このセミナー・イベントにご参加いただくことにより、最新の技術動向、情報をタイムリーに得ることができます。

#### LPI-JAPAN Platinum Sponsors



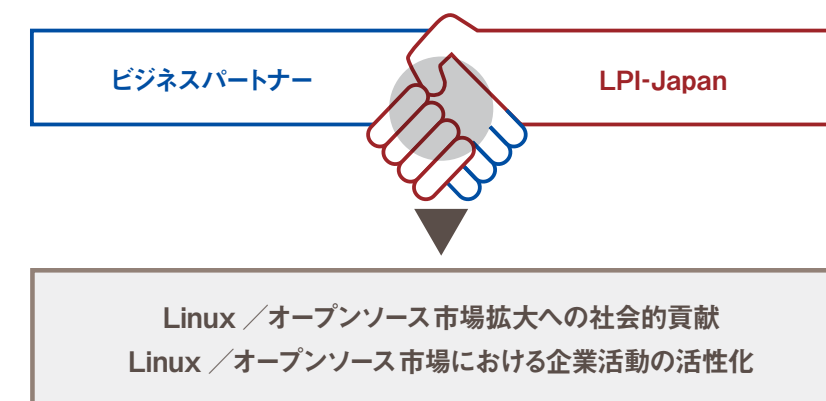
※詳しい内容の説明をご希望の方は、LPI-Japan事務局までお問い合わせ下さい。

## ビジネスパートナー制度

### Linuxビジネスに関わっている企業と一体となってオープンソースの活性化を目指す



ビジネスパートナー制度とは、システム開発企業、Sier、ソフトウェアベンダーなどのLinuxビジネスにかかわっている企業や団体を対象としたパートナー制度です。ご参加いただくことにより、Linux市場の活性化に深く貢献している企業として広く周知することができる制度です。LPI-Japanの活動を介してLinux市場の拡大に貢献している積極的な取り組みの企業として評価を高める効果や、LPI-Japanの広告・広報活動を通して、企業名の露出が期待できます。



### 3つのメリット

- MERIT 1** **オープンソース市場での認知度向上**  
 LPI-JapanのWebサイト、広告、展示会などにおけるプロモーション活動を通じて、パートナー企業の認知度が高まります。
- MERIT 2** **プロモーション支援**  
 パートナー企業が実施するセミナー・イベントの告知や集客、製品・サービスの紹介、広告などにおいて支援が受けられます。
- MERIT 3** **販促物の提供**  
 LPI-Japanが制作するカタログ、ポスター、LPI特製グッズなどの販促物をご提供します。

※「ビジネスパートナー制度説明会」を随時開催しております。詳しい内容の説明をご希望の方は、LPI-Japan事務局までお問い合わせ下さい。



## アカデミック認定校制度

### IT教育機関と一体となって Linux教育の活性化を目指す



LPI-Japan が定めた学習環境基準をクリアした大学・専門学校・PCスクール・企業研修機関等を、LPI-Japan アカデミック認定校に認定させていただき、LPIC 合格を目指す受験者に質の高い Linux 教育を提供することを目的としています。

#### 認定条件

- 1) Linux をインストールした PC を 6 台以上所有
- 2) インストラクターとして LPIC レベル 1 認定取得者を 2 名以上配置
- 3) 既存 LPI 認定教材 (LATM) の採用、もしくはオリジナル教材の認定化
- 4) その他 加入審査 (学校訪問など)

## 3つのメリット



### Linux / LPIC に関する 最新情報の入手

Linux の最新情報が入手できます。また LPIC に関しては、最新情報を一般公開前に入手できますので、いち早く講座に反映する事ができます。また、企業で求められる Linux 技術者像などの最新情報も入手できます。



### プロモーション支援

セミナー、イベントの共同開催など、プロモーション活動のサポートが受けられます。また、LPI-Japan カタログ、WEB サイトなどの販促物掲載による露出効果で受講生や学生の増加が期待できます。



### インストラクター 勉強会への参加

認定校のインストラクターを中心とした「LPI-Japan パートナーインストラクター活動」に参加することにより、Linux の最新情報、最新技術をいち早く入手できます。また、LPI-Japan WEB サイト上に貴校の講師紹介ができます。